



CCDA

California Commission
on Disability Access

バリアフリー対応駐車場： 事業主及び運営者

* CBC 2022 年版



* 発行日: 2024 年 5 月 15 日、本書はカリフォルニア州建築基準法 2022 年版に基づいており、同法に関連する変更がない限り更新されません。

DGS

CALIFORNIA DEPARTMENT OF
GENERAL SERVICES



本ツールキットは、2022年カリフォルニア州建築基準法（CBC）によりバリアフリー対応であることが要求される要素やスペースの完全なリストではないことにご注意ください。一般市民が利用する駐車場施設は、米国障害者法（ADA）とCBCの両方に基づいてバリアフリー対応であることが要求されますが、CBC内の規定はADAの要件よりも制限が厳しくなっています。従って、本書における範囲と技術的な規定は、CBCの関連セクションのみを参照しています。

全てのアクセシビリティ遵守要件については、カリフォルニア州建築基準法をご参照ください。¹

使用した略語一覧:

- **ADA:** 米国障害者法
- **CASp:** 認定アクセススペシャリスト
- **CalCAP:** カリフォルニア州資本アクセスプログラム
- **CBC:** カリフォルニア州建築基準法
- **CCDA:** カリフォルニア州バリアフリー委員会
- **CFILC:** カリフォルニア州自立生活センター財団
- **CSLB:** 請負業者州ライセンス委員会
- **DSA:** 州建築家局
- **EVCS:** 電気自動車充電ステーション
- **ISA:** 国際アクセシビリティシンボル

¹ 国際コード評議会 (ICC)。2022 年カリフォルニア州建築基準第 24 編第 2 部第 1 巻第 11B 章。2024 年 3 月 3 日閲覧。
<http://codes.iccsafe.org/content/CABC2022P1/chapter-11b-accessibility-to-public-buildings-public-accommodations-commercial-buildings-and-public-housing>

目次

本ツールキットの使用法	1
本ツールキットがあなたとあなたの顧客に重要な理由	1 - 2
定義	2
認定アクセススペシャリスト(CASp)とは	3
責任と法的義務	4
駐車場のアクセシビリティ評価に関する質問	5 - 6
施設のメンテナンス	7
バリアフリー税額控除プログラム	8
屋外のバリアフリー対応経路	9
バリアフリー対応経路の理解	9
縁石スロープ	10
バリアフリー対応駐車スペースの数	11
屋外レストラン付近のバリアフリー対応駐車場	12
バリアフリー対応駐車スペースと電気自動車充電ステーション(EVCS)	12
リソース	13
クレジット	14

本ツールキットの使用法

正式な苦情の少なくとも3分の1が、バリアフリー対応駐車場やバリアフリー対応経路に関する問題であることをご存知ですか。

以下のツールキットと教育情報は、そのような苦情を回避するためのものです。本ツールキットは、CBCの具体的な要求事項に代わるチェックリストとして使用することを意図したものではありません。むしろ、その目的は、認識を提供し、要求事項を概ね要約し、改善のために利用可能なリソースに関する情報を提供することです。この情報は、公認アクセススペシャリスト(CASp)や認可を受けた設計の専門家による評価、あるいは適切な財務上または法律上のアドバイスに代わるものではありません。



本ツールキットがあなたとあなたの顧客に重要な理由

ADAは1990年に制定された法律です。ADAは、企業や建物の所有者に対し、商品やサービスへの独立したアクセスを提供する法的義務を定めました。また、アクセシビリティに関する要件を定めたカリフォルニア州法や建築基準法もあります。コンプライアンス違反は、あなたとあなたの企業に対して法的措置が取られる可能性があります。賢明な企業所有者は、自分たちの義務を理解し、コンプライアンスを達成・維持することで、訴訟とそれに伴う莫大な費用を回避しています。

本ツールキットがあなたとあなたの顧客に重要な理由

それは正しいことです。障害を持つ人々も、私たちの殆どが利用しているものと同じものに独立してアクセスしたいと考えています。必要なアクセシビリティを提供することで、あなたの企業は障害を持つ人々に対して開かれたものとなり、障害を持つ人々とその友人や家族の生活を大幅に改善する影響を与えます。それはあなたの地域社会にとって良いだけでなく、あなたの企業にとっても良いことです！

コンプライアンスが重要です。障害を持つ人にとって、コンプライアンスに準拠した建設は、世界の全てに違いをもたらします。移動支援機器を使用する障害を持つ人にとって、傾斜がかなりある歩道はひどい転倒を招く恐れがあります。このような理由から、アクセシビリティのための非常に具体的な基準が設けられています。コンプライアンスは重要です。

定義

アクセシビリティとは、建物、施設、敷地、区域、またはその一部における様々な要素の組み合わせであり、カリフォルニア州建築基準法に準拠して、障害を持つ人が建物や施設にアクセスし、移動し、完全に利用できるようにすることです。

進入通路とは、バリアフリー対応駐車スペースに隣接する、またはバリアフリー対応駐車スペースの間にある、障害を持つ人が車から降りて建物入口まで続くバリアフリー経路に出るためのスペースを提供するスペースのことです。

バリアフリー対応経路とは、バリアフリー対応な要素やスペースをつなぐ、車椅子を使用する人が通ることができ、他の障害を持つ人にとっても安全で使用可能な、連続した、障害物のない経路のことです。屋外のバリアフリー対応経路には、駐車場への進入通路、縁石スロープ、車道の横断歩道、歩行者用スロープ、エレベータなどがあります。

国際アクセシビリティシンボル (ISA) は、青い背景に車椅子に乗った白い人物が描かれており、建物や施設が障害を持つ人が利用できるように設計されていることを示すために使用されます。²



² 国際コード評議会 (ICC) 。2022 年カリフォルニア州建築基準第 24 編第 2 部第 1 巻第 11B 章。2024 年 3 月 3 日閲覧。<http://codes.iccsafe.org/content/CABC2022P1/chapter-11b-accessibility-to-public-buildings-public-accommodations-commercial-buildings-and-public-housing>

認定アクセススペシャリストとは？

CASpとは、建設関連のアクセシビリティ基準に関する専門知識を有するとカリフォルニア州から認定された個人のことです。

CASpは、アクセシビリティ遵守の問題について施設を検査し、検査報告書を提供し、バリアフリー検査証明書を発行することができます。

検査報告書とバリアフリー検査証明書とは？

建設関連アクセシビリティ基準遵守法（民法第55.51条）は、企業または施設の所有者が、該当する建設関連アクセシビリティ基準に適合しているかどうかを検査するCASpを自主的に雇うことができるプロセスを定めています。CASpに施設の検査を依頼することで、施設所有者または事業主は、アクセシビリティ違反について知らされ、該当する建設関連アクセシビリティ基準への準拠を達成・維持するための改善に取り組み、訴えられた場合に法的利益を行使することができます。

CASp報告書の利点は？

CASpは、施設の築年数や改修履歴に基づいて、どの基準がその施設に適用されるかを特定することができます。建築家やエンジニアのような認可を受けた設計の専門家は、アクセスコンプライアンス評価を提供することができるかもしれないが、建設関連のアクセシビリティ訴訟において「適格被告」の地位を提供するサービスを提供できるのはCASpだけです。CASpを雇い、検査報告書を受け取り、コンプライアンスを達成するために必要な改善を行うという誠意ある努力は、企業や不動産所有者が訴訟を受けにくくする可能性があり、アクセシビリティに関する主張が提訴された場合に具体的な法的利益をもたらします。

詳細とCASpの最新リストについては、州建築家部門(DSA)にお問い合わせください。³

³ “「不動産検査」”。<http://www.dgs.ca.gov>. 2024年11月18日閲覧。https://www.apps2.dgs.ca.gov/DSA/casp/casp_certified_list.aspx

責任と法的義務

ADAは連邦市民権法です。ADAに基づき、企業は障害を持つ個人に対し、商品やサービスへのアクセスを提供することが義務付けられています。1993年1月26日以降に建設された施設は、建設時に有効であった基準に準拠していることが求められ、基準への準拠を維持することが義務付けられています。これ以前に建設された施設については、所有者は、大きな困難や出費を伴わずに容易に達成できる障壁を取り除く必要があります。物理的障壁の除去が当初は容易に達成可能でないと判断した所有者は、障壁の除去が時間の経過とともに達成可能かどうかを定期的に再評価し、施設が法律で要求されるアクセシビリティを提供できるように障壁の除去を計画しなければなりません。

ADAとカリフォルニア州法の下では、施設の所有者とテナント／事業主の双方が、施設がバリアフリー対応であることを保証する責任があります。このため、賃貸契約書を確認し、どちらの当事者が施設のバリアフリー確保に責任を負うかを判断することが重要です。

カリフォルニア州では、商業施設の所有者は、2017年1月1日以降に締結するリース契約書または賃貸契約書に、施設がCASpによる検査を受けたか否かを記載することが義務付けられています。検査を受けていない場合、所有者はテナントがCASpを雇うことを許可し、修繕費用について相互に合意する必要があります。

所有者がCASpによる不動産の検査を受けた場合、リースまたは賃貸契約締結の48時間前までに、入居予定者にCASp報告書を確認する機会を与えなければならず、提供されない場合は、契約締結後72時間まで、報告書の情報に基づいて契約を取り消す権利が認められています（民法第1938条）。⁴



⁴ カリフォルニア州立法情報「カリフォルニア州民法第1938条」2023年8月25日閲覧。 https://leginfo.legislature.ca.gov/faces/codes_displaySection.xhtml?sectionNum=1938&lawCode=CIV

駐車場のアクセシビリティ評価に関する質問

以下の質問のいずれかに「いいえ」と答えた場合、駐車施設にアクセシビリティ違反がある可能性があります。

以下のリストは、駐車施設のアクセシビリティ要件をすべて網羅するものではなく、また、施設のコンプライアンスを自己判断するためのチェックリストでもありません。

検査については、CASpにお問い合わせください。

.....

場所と配置

バリアフリー対応駐車スペースと進入通路は、利用者が駐車した駐車スペース以外の駐車スペースの後ろを通る必要がないように設計されていますか。

隣接するバリアフリー対応経路の必要な有効幅を超える車両の侵入を防ぐための縁石や車輪止めがありますか。

進入通路は、施設入口へのバリアフリー対応経路に隣接していますか。

バリアフリー対応駐車スペースの大きさ

バリアフリー対応駐車スペースは最低18フィートの奥行がありますか。

バリアフリー対応駐車スペースは最低9フィートの幅がありますか。

バリアフリー対応のバンのスペースは、最低幅12フィートで進入通路幅5フィート、または幅9フィートで進入通路幅8フィートありますか。

バリアフリー対応駐車場の進入通路

進入通路は最低5フィートの幅がありますか。

進入通路は、少なくともバリアフリー対応駐車スペースの必要な奥行と同じ長さですか。

バリアフリー対応のバンの駐車スペースの場合、進入通路は駐車スペースの助手席側にありますか。

バリアフリー対応駐車スペースと進入通路の路面

路面の勾配は全方向に対して1:48(2.08%)以下ですか。

バリアフリー対応駐車スペースと進入通路の路面は、安定し、固く、滑りにくいですか。

バリアフリー対応駐車スペースと進入通路には段差はありますか。

駐車場のアクセシビリティ評価に関する質問

以下の質問のいずれかに「いいえ」と答えた場合、駐車施設にアクセシビリティ違反がある可能性があります。

以下のリストは、駐車施設のアクセシビリティ要件をすべて網羅するものではなく、また、施設のコンプライアンスを自己判断するためのチェックリストでもありません。

検査については、CASpにお問い合わせください。

.....

路面標示

進入通路は青い線で縁取られていますか。

進入通路には、青または白の斜線が 36 インチ以内の間隔で引かれていますか。

進入通路内に白い文字で書かれた「駐車禁止」という表示が最低12 インチの高さにあり、隣接する車道から見えるように配置されていますか。

バリアフリー対応の各駐車スペースにISAと表示していますか。

ISAのシンボルは青地に白で、幅36インチ×高さ36インチ以上ですか。

ISAシンボルの中心線は、駐車スペースの中心線から6インチ以内ですか。

ISAの側面は駐車スペースの縦と平行で、下側の角は駐車スペースの端にあるか、または下側の角は駐車スペースの端に揃っていますか。

表示

各バリアフリー対応駐車スペースに、青地に白でISAと書かれた標識がありますか。

ISA の下に「罰金最低250ドル」という標識がありますか。

バンが利用可能な駐車スペースを示す「バン利用可能」という標識はありますか。

標識は駐車スペースのすぐ横か、駐車スペースの先頭の予定駐車スペース幅内、または駐車スペースの端の壁に常時掲示されていますか。

標識の下部と仕上げ床または地面の間には少なくとも 60 インチの隙間がありますか。

循環経路にある場合、標識の下部は床または地面から80インチ以上の高さにありますか。

各駐車場入口（またはバリアフリー対応駐車場のすぐ隣で、各駐車スペースから見える場所）に、バリアフリー対応駐車スペースに駐車することを許可されていない人に警告を与え、レッカー移動された車を引き取ることができる場所を示す追加の標識がありますか。

施設のメンテナンス

どの施設でも、アクセシビリティ機能はメンテナンスが必要です。駐車場の再舗装などのメンテナンス作業が、アクセシビリティの要件に違反したり損なわれたりしないように、メンテナンスの実施前にCASpにご相談ください。

CASpの探し方

CASp のリストについては、CASp 不動産検査に関する情報が記載されている州建築局の Web サイトのリンクにアクセスしてください。https://www.apps2.dgs.ca.gov/DSA/casp/casp_certified_list.aspx

請負業者の探し方

州請負業者ライセンス委員会 (CSLB) は、建設に関連する事柄について、国民の健康、安全、一般福祉を促進する政策を通じて建設業界を規制し、消費者を保護しています。詳細はCSLBのウェブサイト<https://www.cslb.ca.gov/>をご覧ください。CSLBは請負業者を規制し、様々な建設業において請負業者として事業を行うためのライセンスを発行しています。CSLBはまた、消費者が適切なライセンスを持つ請負業者を雇う際に役立つ情報をウェブサイトで提供しています。詳しい情報はCSLBのウェブサイトをご参照ください。⁵

アクセシビリティ機能を確実に維持するためのメンテナンス計画の策定

全ての企業または施設の所有者は、アクセシビリティ機能が建設時に適用された基準に準拠して維持されるように、メンテナンス計画を作成する必要があります。メンテナンスの問題には関連費用がかかる場合がありますため、それに応じて予算を組むことが重要です。

CCDAの建設関連のバリアフリー違反のトップ 10 によると、バリアフリー対応駐車場に関する違反は、差別訴訟の主要素となることが多いです。そのため、事業主は、まず外観のアクセシビリティ違反に対処することから始めるとよいでしょう。また、アクセシビリティ維持の取り組みを日付、写真、領収書などで記録しておく、差別の訴えが提起された場合に、アクセシビリティ機能を維持する姿勢を示すことができます。

従業員研修

従業員に対して、障害を持つお客様への接客、介助動物への対応、およびアクセシビリティ機能の維持に関するバリアフリーエチケットについて研修を実施します。

地域のバリアフリー研修および追加情報については、カリフォルニア自立生活センター財団 (CFILC) にお問い合わせください。⁶

7 ⁵「CSLB - カリフォルニア州ライセンス委員会」<https://www.cslb.ca.gov/>。2022年11月18日閲覧。<https://www.cslb.ca.gov/>。



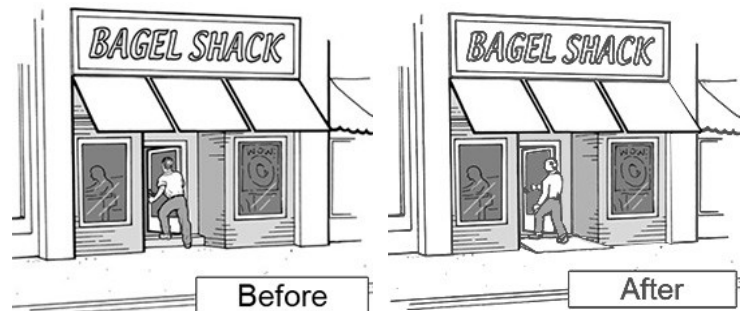
バリアフリー税額控除プログラム

企業は、障害者アクセス控除(最高10,000ドル)と建築物バリアフリー税控除(最高15,000ドル)により、連邦政府からバリアフリー費用の払い戻しを受けることができます。障害者アクセス控除は適格な中小企業が利用でき、建築物バリアフリー税控除はすべての企業が利用できます。バリアフリーのための支出には、1990年11月5日以降に初めて使用開始された施設に関連して支払われた、または発生した支出は含まれません。

障害者税額控除では、聴覚障害者に有資格の通訳者や音声資料を提供するその他の方法、視覚障害者に視覚資料を提供する方法、障害者向けの機器や装置の取得や改造など、合理的かつ必要な費用が払い戻しの対象となる場合があります。このプログラムの詳細や、控除を最大限に活用する方法については、国税庁 (IRS) の ウェブサイトをご参照ください。⁷

米国障害者法 (CalCAP/ADA) 融資プログラムのカリフォルニア州資本アクセス プログラム (CalCAP) は、適格な中小企業に対し、既存の中小企業施設をADAの要件に適合させるための改造または改修費用の融資を支援します。企業は、CalCAP/ADA融資プログラムに登録されている場合、金融業者からより有利な融資条件を受けることができます。この融資の詳細については、カリフォルニア州汚染管理融資局 ADA プログラムにお問い合わせください。⁸

連邦税の優遇措置の詳細については、ADA全国ネットワークの「アドバイスと税制優遇措置」をご参照ください。⁹



⁶ 「CFILC - カリフォルニア自立生活センター財団」<http://www.cfilc.org> 2022年11月18日閲覧。<https://www.cfilc.org>

⁷ 「IRS Tax Information For Businesses.” <https://www.irs.gov/>. Accessed November 18, 2022. <https://www.irs.gov/businesses>.

⁸ 「CalCAP/ADA プログラム」<https://www.treasurer.ca.gov/> 2022 年 11 月 18 日閲覧。<https://www.treasurer.ca.gov/cpcfa/calcap/ada/faq-ada.asp>

⁹ 「ADAアドバイスー 税制優遇措置」<http://www.adata.org> 2022 年 11 月 30 日閲覧。<https://adata.org/factsheet/quicktips-tax>

屋外のバリアフリー対応経路

障害を持つ人が会社の玄関まで行くには、バリアフリー対応駐車スペースからバリアフリー対応経路が必要です。

バリアフリー対応駐車スペースからバリアフリー対応玄関までは、最短のバリアフリー対応経路が必要です。

駐車場が複数のバリアフリー対応玄関に通じている場合、バリアフリー駐車スペースは分散させ、各バリアフリー対応玄関への最短バリアフリー対応経路上に配置するものとします。

詳細な要件については、カリフォルニア州建築基準法をご参照ください。¹⁰



考慮すべき事項:

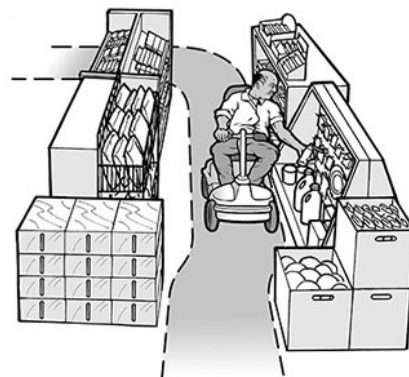
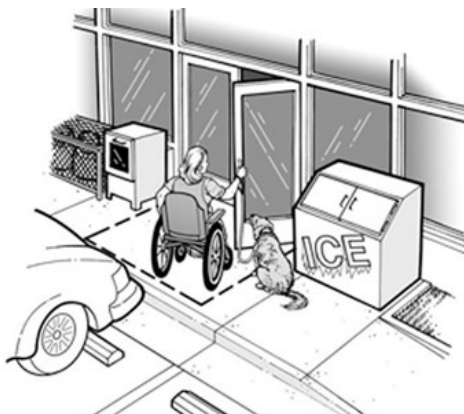
- バリアフリー対応経路の走行勾配と横断勾配 - 勾配はそれぞれ1:20と1:48ですか。
- 使用されている材料の種類 - 堅くて滑りにくいですか
- 段差 - 段差は最大1/4インチか、1/4インチから1/2インチまでの

バリアフリー対応経路の理解

バリアフリー対応経路とは、バリアフリー対応の敷地、建物、施設のバリアフリー対応要素やスペースをつなぐ、連続した、障害物のない道で、車椅子を使用する障害を持つ人が通ることができ、他の障害を持つ人にとっても安全で使用可能なものです。

屋内のバリアフリー対応経路とは、建物内の全てのバリアフリー対応要素およびスペースを結ぶ必要があり、廊下、玄関、フロア、スロープ、エレベータ、リフトなどがあります。

外部のバリアフリー対応経路は、バリアフリー対応駐車スペースや公共の歩道などの敷地到着地点から始まり、縁石、歩道、スロープなどの要素が含まれる場合があります。CBCで許可されている場合は、プラットフォームリフトを使用することができます。¹⁰



¹⁰ 国際コード評議会 (ICC)。2022 年カリフォルニア州建築基準第 24 編第 2 部第 1 巻第 11B 章。2024年3月3日閲覧。<http://codes.iccsafe.org/content/CABC2022P1/chapter-11b-accessibility-to-public-buildings-public-accommodations-commercial-buildings-and-public-housing>

縁石スロープ

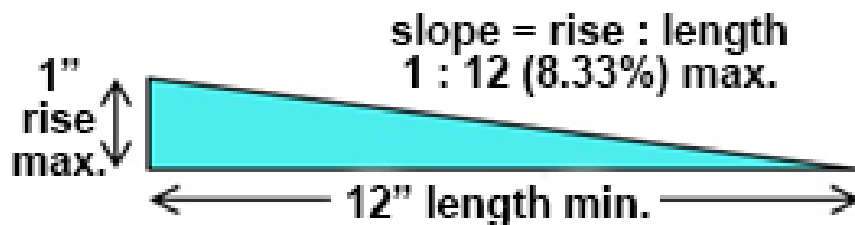


縁石スロープは、駐車場の高さとバリアフリー対応玄関につながる歩道間のバリアフリー対応リンクです。基準を満たしていない縁石スロープは危険であり、所有者の責任となります。そのため、正しく設置することが重要です。

縁石スロープは、車椅子を使用する人がバリアフリー対応駐車スペースから建物の入り口まで移動しやすくするために、幅が最低でも4フィートあり、緩やかな傾斜に設定されています。縁石スロープがなければ、車椅子を使用する障害を持つ人が歩道にアクセスする方法はありません。

CBCには、縁石スロープに関する多くの詳細な要件があるが、最も重要な要素は次の通りです。

縁石スロープの勾配: 縁石スロープの最大許容勾配は1:12、または8.33%です。1:12または8.33%を超える勾配は、車椅子での移動が非常に困難です。最終的な勾配は通常、建築検査官またはCASpが長さ2フィートのデジタル水準器を使って確認します。

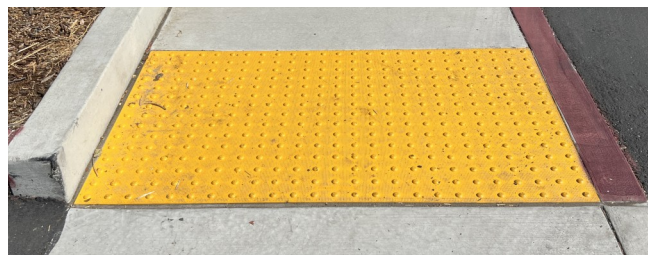


縁石スロープ(続き)

縁石スロープには、フレア側面と踊り場の傾斜に関する追加の特定の要件があり、また、縁石スロープの端にある通常は黄色の凹凸のある表面である検知可能な警告を提供する要件もあります。検知可能な警告は、目が見えない人や視覚障害のある人が車両エリアまたは道路に入ることを警告するために提供されます。

様々なタイプの縁石スロープの詳細については、CBC 11B-406をご参照ください。

検知可能な警告の詳細については、CBC 11B-705をご参照ください。



バリアフリー対応駐車スペースの数

駐車施設に用意されている駐車スペースの総数	必要なバリアフリー対応駐車スペースの最低数
1から25	1
26から50	2
51から75	3
76から100	4
101から150	5
151から200	6
201から301	7
301から400	8
401から500	9
501から1,000	総数の2%
1,001以上	20、1,000 を超える 100 またはその端数ごとに 1 を加算

以下は CBC 表 11B-208.2 のコピーです。バリアフリー対応駐車スペースの合計のうち、バンが利用可能なスペースがいくつ必要かについては、CBC 208.2.4 をご参照ください。

屋外レストラン近くのバリアフリー対応駐車スペース

屋外レストランエリアは、元々駐車スペースであった場所に建設されることがよくあります。以前は駐車スペースであった場所に屋外レストランスペースを設ける場合、バリアフリー対応駐車スペースが利用できなくなることがないようにすることが重要です。対応駐車スペースについては、各自治体にご確認ください。

詳しいガイダンスについては、地方自治体に確認してください。

詳細については、CCDA の屋外レストランおよびカーブサイドピックアップの障害者用アクセスに関する考慮事項をご参照ください。¹¹



バリアフリー対応駐車スペースと電気自動車充電ステーション

電気自動車充電ステーション(EVCS)は駐車スペースではありません。公共施設では、EVCSと駐車場は、企業や施設の所有者が提供する別のサービスです。電気自動車の運転手は駐車するたびに充電する必要はないため、カリフォルニア州法ではEVCSは充電専用に確保されています。

EVCSを追加すると、提供される駐車スペースの総数が減り、必要なバリアフリー対応駐車スペースの数が減る可能性があります。バリアフリー対応駐車スペースをEVCSに変更する前に、CBC表11B-208.2(10頁参照)をご参照ください。

一般の人が利用できる施設にEVCSが設置する場合、障害を持つ人が利用可能なEVCSは、CBC第11B-228.3項および第11B-812項に従って設置しなければならない。EVCSは、バリアフリー対応駐車スペースとは別のアクセシビリティ要件があります。

バリアフリー対応駐車スペースとバリアフリー対応EVCSは、同じ進入通路を共有する場合があります。CASpの検査は、敷地内に提供するEVCSのアクセシビリティを判断するのに役立ちます。また、敷地内にEVCSを設置する予定がある場合は、資格のある設計専門家に相談する必要があります。

EVCSのアクセシビリティ要件の詳細については、州建築家局が提供するビデオをご参照ください。<https://www.youtube.com/watch?v=5Wd5CjI50HM&t=1688s>



¹¹「屋外レストランとカーブサイドピックアップの障害者アクセスに関する考慮事項」<https://www.dgs.ca.gov/CCDA>。
2022年11月15日閲覧。<https://www.dgs.ca.gov/en/CCDA/Business-Connect>

リソース

本書に記載されている情報は、カリフォルニア州の基準に基づいています。より制限の少ない連邦基準は、ADA National Network(<https://adata.org/>)に掲載されています。

カリフォルニア州の建築基準に関する情報は、カリフォルニア州建築基準委員会 (BSC)(<https://www.dgs.ca.gov/BSC>)までお問い合わせください。

アクセスプログラムについては、カリフォルニア州資本アクセスプログラム (CalCAP)(<https://www.treasurer.ca.gov/cpcfa/calcap/ada/faq-ada.asp>)をご参照ください。

カリフォルニア州のアクセシビリティに関する法律およびガイダンスについては、カリフォルニア州障害者アクセス委員会 (CCDA)(<https://www.dgs.ca.gov/CCDA>)までお問い合わせください。

カリフォルニア州のアクセシビリティに関する法律やガイダンスについては、カリフォルニア州リハビリテーション局 (DOR)(<https://www.dor.ca.gov>)までお問い合わせください。

カリフォルニア州のアクセシビリティ法に関する情報、アクセシビリティ要件の遵守に関する助言または解釈については、カリフォルニア州建築家局 (DSA)(<https://www.dgs.ca.gov/en/DSA>)にお問い合わせください。

カリフォルニア州認定アクセススペシャリスト (CASp) の資格については、カリフォルニア州建築士局 (DSA) の CASp 不動産検査(<http://www.dgs.ca.gov/casp>)をご参照ください。

地域のプログラムについては、カリフォルニア自立生活センター財団 (CFILC) (<https://www.cfilc.org/>)をご参照ください。

カリフォルニア州のプログラムについては、カリフォルニア州知事ビジネス経済開発局(<https://www.business.ca.gov>)をご参照ください。

CASIにアクセスするには、公認アクセススペシャリスト協会 (CASI) (<https://www.casinstitute.org>)をご参照ください。

請負業者のライセンスについては、消費者庁請負業者ライセンス委員会 (CSLB)(<https://www.cslb.ca.gov>)をご参照ください。

税制優遇措置については、国税庁 (IRS) – 企業 (<https://www.irs.gov/businesses>)をご参照ください。

本書に概説されている情報は、カリフォルニア州の基準に基づいています。連邦基準に関する情報は、米国司法省 (DOJ) – 公民権局障害者権利課(<https://www.ada.gov>)に掲載されています。

本書に記載されている情報は、カリフォルニア州の基準に基づいています。カリフォルニア州建築基準法 (2022) にアクセスするには、<http://codes.iccsafe.org/content/CABC2022P1/chapter-11b-accessibility-to-public-buildings-public-accommodations-commercial-buildings-and-public-housing>をご参照ください。

地域のプログラムや研修については、太平洋ADAセンター(<https://www.adapacific.org/>)をご参照ください。

本書に記載されている情報は、カリフォルニア州の基準に基づいています。連邦基準については、米国アクセス委員会(<https://www.access-board.gov/>)をご参照ください。

クレジット

CCDAチェックリスト委員会 – バリアフリー対応駐車場キャンペーン ADAコーディネータと事業主・運営者作業部会

Drake Dillard (ドレイク・ディラード) – CCDA 委員、Perkins and Willシニア・プロジェクト・マネジャー

Brandon Estes (ブランドン・エステス) – カリフォルニア州建築基準委員会 (BSC) アナリスト

Shannon M. Mulhall (シャノン・M・マルホール)、CASp – フレズノ市シニア人事アナリスト、認定アクセススペシャリスト協会 (CASI) 特別プログラム議長 Mehdi Shadyab (メディ・シェディヤブ)、CASp – サンディエゴ市構造エンジニア

Bill Zellmer (ビル・セルマー)、CASp – Sutter Healthフィジカルアクセス規制担当プログラム・マネジャー

Ike Nnaji (アイク・ナージ)、CASp – 障害者アクセススペシャリスト社長

CCDA チェックリスト委員会 – バリアフリー対応駐車場キャンペーン建設業界作業部会

Chris Barkley (クリス・バークレー) – Teichert Construction 副社長兼現場監督

Robert Chrisp (ロバート・クリスプ) – Chrisp Company 事業主

Roberto Cortez (ロベルト・コルテス) – Monarch Engineers 社長兼CEO

Brian Holloway (ブライアン・ホロウェイ) – CCDA 委員、Holloway Land Development 社長

John James (ジョン・ジェームス)、CASp – 建築管理官

Michael Jamnetski (マイケル・ジャムネツキー) – 建設業者州ライセンス委員会 (CSLB) 主任副登録官

Craig Perry (クレイグ・ペリー) – Point Source Construction Management マネージング・パートナー

Katherine White (キャサリン・ホワイト) – CSLB 広報部長

CCDA 委員会メンバー

Chris Downey (クリス・ダウニー) – 議長

Douglas Wiele (ダグラス・ウィール) – 副議長

Guy Leemhuis (ガイ・リームハウス) – 前議長

Drake Dillard (ドレイク・ディラード)

Dr. Souraya Sue ElHessen (スーラヤ・スー・エルヘッセン博士)

Brian Holloway (ブライアン・ホロウェイ)

Jacqueline Jackson (ジャクリーン・ジャクソン)

Ashley Leon-Vazquez (アシュリー・レオン・バスケス)

Scott Lillibridge (スコット・リリブリッジ)

Michael Paravagna (マイケル・パラバーニャ)

Héctor Ramirez (エクトル・ラミレス)

Ida Clair (アイダ・クレア) – 州建築家

Anthony Seferian (アンソニー・セフェリアン) – 副司法長官

Brian Maienschein (ブライアン・マイエンシャイン) – 下院議員

Janet Nguyen (ジャネット・グエン) – 下院議員

Melissa Hurtado (メリッサ・フルタド) – 上院議員

Brian Jones (ブライアン・ジョーンズ) – 上院議員

April Marie Dawson Rawlings (エイプリル・マリー・ドーソン) – CCDA 事務局長

Phil McPhaul (フィル・マクフォール) – CCDA 運営マネジャー

Abigail Ridge (アビゲール・リッジ) – CCDA スタッフ

総務省 (DGS) 不動産サービス課 (RESO)

画像はDGSスタッフにより加工されている場合があります。



**400 R Street, Suite 310
Sacramento, CA 95811**

電話: (916) 319-9974

電子メール: CCDA@dgs.ca.gov

eFax: (916) 376-4216

ウェブサイト:

<https://www.dgs.ca.gov/CCDA>